



ご利用ください

「湯けむり交流支援制度」

図 海老名市都市間交流協会事務局
(市民協働課内) ☎ (235) 4794



海老名市都市間交流協会では、トライアングル交流都市である宮城県白石市と北海道登別市の提携温泉旅館で利用できる宿泊割引制度があります。年末年始などに、ぜひご利用ください。

- ▶ **利用条件** ①市内に住民登録がある方、または海老名市都市間交流協会会員 ②白石市、登別市内の提携温泉旅館に宿泊すること
- ▶ **助成額（1泊）** ①白石市に宿泊の場合…中学生以上3000円、子ども1000円 ②登別市に宿泊の場合…中学生以上6000円、子ども2000円 ※年度内2泊まで利用可。
- ▶ **申請先** 市民協働課内同事務局へ。

1日も早い復興を願う

トライアングル交流宣言に先駆けて締結していた「三市による災害援助協定」に基づき、東日本大震災で被災した白石市に対し、登別市とともに支援を行いました。米海軍の協力による、トモダチ作戦の第一号となった救援物資のヘリ輸送をはじめ、陸路からの物資輸送、救援隊派遣などを行いました。

また、9月26日には、白石中学校3年生が修学旅行中に海老名市

役所を訪れ、生徒自らが企画した、支援に対しての感謝の歌の披露や、手作りの横断幕の贈呈が行われ、心温まる交流のひとつを過ぎました。

**より身近に感じるきっかけに
交流ツアーを実施しました**

すっかり人気者となった2頭のポニー、エビーとビーナのふるさとでもある登別市。10月に実施した交流ツアーには、海老名市民約400人が参加し、北海道の秋を

満喫しました。このツアーは、トライアングル交流の第一弾として企画されたもので、直接見て、触れることで、更なる交流のきっかけとなるようにとの思いが込められています。記念の植樹や、かながわ環境大使の白井貴子さんと地元専門学生との合同ミニライブなども行われ、様々な交流の輪が広がりました。



**これから様々な分野で
交流を深めていきます**

● **内野市長コメント**
「災害援助や登別ツアーなどを通じて、お互いに顔の見える関係を通じ、築くことの大切さを痛感した1年となりました。大切なことは、一過性にせず、継続していくことだと考えています。今後も引き続き海老名の元気を届けるとともに、三市によるトライアングル交流がますます活発に続いていくことを願っています。」

トライアングル交流

海老名市と登別市は、それぞれが白石市の姉妹都市として交流を続けてきました。ことし4月、より一層の交流発展を目的に、海老名市、白石市、登別市の間で「トライアングル交流宣言」を締結しました。この宣言では、三市が「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、様々な分野で交流を深め、相互支援関係を強化していくことがうたわれています。今号では、ことし行ってきた三市間の交流について振り返ります。



**白石市・登別市の市長から
コメントが届きました**

● **白石市 風間康静市長（写真中）**
「東日本大震災で被災した翌日、米軍ヘリにて支援物資を届けていただいた時、空を見上げる希望と前に進む勇気をいただきました。それ以降も陸路から毎日のように搬送いただいたほか、今なおたくさんの方の元気を届けていただき、ただただ感謝の気持ちで一杯であります。」

海老名市の皆様からいただいた心のもった応援を胸に、市民と共に復旧・復興を成し遂げることが約束します。誠にありがとうございました。」

● **登別市 小笠原春一市長（写真右）**
「海老名市民の皆さん、10月の当市への市民ツアー訪問は、東日本大震災の風評被害で苦しむ登別温泉にとっては救世主のような存在で、トライアングル交流の趣旨であります。家族、姉妹、兄弟、友達との関係を肌で感じたところです。心より感謝申し上げますとともに、今後もこの関係が続くことを祈念いたします。」